



有限会社 茅ヶ崎方式英語会 102-0073 東京都千代田区九段北1-6-6 カサイビル I
Tel/Fax 03-3288-2770 <http://www.chigasakiieigo.com/> e-mail: info@chigasakiieigo.com

新年おめでとうございます

新しい年がスタートしました。本年もよろしく願い致します。

協力校有志の方から「招き猫」を頂きました。
早速事務所に飾りました。福を呼び込んで、協力校の仲間、
茅ヶ崎方式で学ぶ会員の仲間が少しでも増えるといいなあと
いう願いをこめて。今年は皆さんにもたくさんの福が来ますように！



～協力校懇親会のご報告～

「英語の習得は覚えること」

昨年11月23日、協力校主宰者を対象とする恒例の「協力校懇親会」を東京一京橋にて開催いたしました。当日は、茅ヶ崎方式創設時より茅ヶ崎方式と深い関わりのあるNHK国際放送 Radio Japan 元アナウンサー水庭進さんからの話を聞き、また、協力校制度10周年を期に、10年間協力校として教室を運営されてきた名古屋緑校の久富奈保子さん、福岡中央校の蓮尾恵子さんからのスピーチを頂くなど、盛り沢山の数時間をお過ごしいただきました。以下、水庭進さんのご紹介とお話の内容をご報告します。

水庭進さんは、茅ヶ崎出版の「英語街道をゆく」でご存知の方も多いかと思いますが、東京外語大学時代、アルバイトとしてNHK国際放送に関わって以来、定年退職されるまで英語放送一筋に勤められ、その間イギリスBBCへ派遣されるなど、豊富な経験をお持ちです。



定年退職後は日本大学教授、早稲田大学講師などを務められました。その豊富な知識と経験の一端を、ご自身 NHK 時代にかかわりを持たれた「東京ローズ」にまつわるお話を中心としてお話しいただきました。「東京ローズ」については、昨年9月末に「東京ローズ」の一人であると考えられているアイバ・トグリ・ダキノさんが90歳で亡くなり、C3のニュースでも取り上げられました。戦時中の日本の宣伝放送のための「ゼロ・アワー」のアナウンサーとして、アメリカへの忠誠心の強いトグリさんが選ばれた経緯など、大変興味深い内容でした。



また、「水庭さんはどのようにしてその英語力を身につけられたのか」との質問に、旧制中学時代の先生（五十嵐新次郎氏）の指導のもと、数々のスピーチコンテストに出場するために、スピーチを先生のあとについて鸚鵡返しに繰り返して、発音・ストレス・イントネーション等をそっくり覚えていったこと、これが一番だったと思う、覚えることが一番大切であるとおっしゃっていました。

NHK のアルバイト採用試験の際は、海外生活の経験が無かったにもかかわらず、二世達を含む多くの応募者の中から最終的に選ばれた3名の中に入ったことなど、現在の英語学習者にも示唆に富むお話でした。

水庭さんの著書は英語関連のもの（残念ながら「英語街道をゆく」は絶版となっております）から、趣味の釣り、俳句、野球、古代史についてまで、多数あります。以下その主なものを列記いたします。是非お読みいただき、英語学習の参考にしていただき、また、水庭ワールドに浸っていただければ幸いです。

「野球の英語辞典」長崎出版

「歯科の英語活用辞典」南雲堂

「釣りの英語活用辞典」南雲堂

「釣りは愉し」章友社

「現代俳句表記辞典」「現代俳句古語逆引き辞典」「現代俳句古語逆引き辞典」博友社

「俳句に詠む四字熟語」竹内書店新社



《三田校》 兵庫県三田市

代表 二木 孝子

兵庫県三田(さんだ)市で英語・英会話スクールを開いて2年半が過ぎた夏の終わり、英会話の生徒さんから聞いた『茅ヶ崎方式英語会協力校制度』の話に、「これだ！これこそが私の求めていたものだ！」と心が躍りました。すぐに申し込み、2000年1月三田校誕生。私の直感は正しかったとつくづく思います。

それまでの私は、英語教育に携わっていたものの、仕事に追われて自分自身の英語を磨く為の時間を作れずにいました。もちろん英語を教えるということは、それ自体自分にとって勉強になりますが、自分の英語力を向上させるまでには至りませんでした。

協力校になってからは、嬉しいことに授業の準備＝自分の為の勉強となり、しかも多忙を理由に逃げ出すことが出来ませんので、非常に満足しています。また、学習者の方々がみな真面目で熱心なので、私も頑張らなければ・・・という気持ちが湧いてきます。

毎週単語をしっかりと覚え、リスニング力をつけていくというやり方は、地味ではありますが、語学学習の基本をしっかりと押さえている理想の学習法だと思います。また、最新ニュースを教材にしている為、英語の学習と同時に社会の出来事を理解することができますので、最近よく耳にする、「発音はネイティブ並でペラペラなのに、肝心の話に中身が何もない。」という情けない状態に陥らなくて済みます。

この素晴らしい学習法がもっと多くの人達に広がり、国際社会でも堂々と意見を言える人が増えていくことを願ってやみません。

👂👂 学習者の声 👂👂

三田校 C3会員 平田 慎作

～ やり直しの英語 ～

6年前の夏の夜、急に激しく降り始めた雨の中を、我が家へ自転車を飛ばしていました。あっと思った瞬間の事故。気がついた時は救急病院のベッドの上でした。病室で何気なく聞き始めたラジオ英会話。英語が好きで洋書を読みふけた学生の頃、やがて学園紛争の中で次第に英語から遠ざかっていった自分を思い出しました。もう一度、英語をやり直したい。団塊世代の私のあの気持ちは今も忘れません。

4ヵ月後にやっと退院して、30年もの長いブランクを取り戻そうと懸命に勉強しました。2年ほどして、やはり私には学習のペースメーカーが必要だと考えるようになったのです。それが、インターネットで地元三田市の茅ヶ崎方式三田校を知るきっかけでした。

茅ヶ崎方式C1のクラスに入って4年目の今、さすがに悔しいかなC3は手ごわいです。それでも、いま私たちに必要な国際共通語としての英語を実践的に、しかも大人の学習にふさわしいやり方で導いてくれます。そして、温かく熱心に指導してくださる二木先生と、本当に真剣に学ぶクラスメートがいる。これはこの教室で学ぶ喜びであり、私のひそかな自慢でもあるのです。

鹿嶋校は、主に中学生と高校生を中心とした英語スクールです。スクールをはじめた当初は、文法だけを教える“塾”をするのに抵抗を感じていました。そんなときに、私自身の勉強教材を書店に探しに行ったときに、茅ヶ崎方式バイマンスリーに出会い、これぞ英語教材の真髄と思い、是非、この方式を生徒さんたちに取り入れたいと思い、入会いたしました。

予想していた以上に、生徒さんたちは、ニュースが好きではなかったようで（特に政治、経済）、内容が難しいという声もよく耳にしました。導入当時は、まだ、大学入試でもリスニングは導入されておらず、当校の周りの進学学校でも、リスニングをあまり重要視していなかったのも、なかなか身の入らない生徒さんもいました。先に大学入試を控えている生徒さんたちにとっては、“入試英語 イコール 英語”になっているのを痛感させられました。それでも茅ヶ崎方式のレッスンを進めていきました。そして、レッスンを重ねていくごとに、少しずつですが、生徒さんたち全員の中で漠然と“ためになるのでは？”という気持ちが芽生えていったようでした。高校3年生で、受験を目の前にすると、漠然としていたものが徐々に確信へと、そして、英語に対するさらなる自信につながっていたようでした。

卒業し、東京などに旅立って行ってからも、時折、茅ヶ崎方式のお勉強やりたいのですねと、連絡をくれる卒業生もいます。茅ヶ崎方式に出会って、英語に魅了され、大学へ進学、そして、就職しても、尚英語の勉強をやり続けているという話を耳にするたびに、やってよかったと私も大変うれしく思います。

現在は、そんな先輩たちの話を聞いている生徒さんが多い上に、大学入試でリスニングが導入されたこともあり、皆、とても意欲的に取り組んでいます。今は、受験も終盤になっていますが、英語に関しては、焦ることもなく、茅ヶ崎方式に受験生も取り組んでいます。出会った時は、進学校学年ワースト10にいたという生徒さんも当校には少なくありませんが、1年、2年と年を重ねる毎に、飛躍的に成績が向上し、最終的には学年で、ほとんどの生徒さんがトップ10にまで入ってくれます。そういう生徒さんたちを始め、毎年、皆、英語を最強の武器に受験に臨んでくれているので、茅ヶ崎方式で培った、真の英語力に感嘆するばかりです。



あとがき ♪ 団塊世代のまたは若い世代の会員さんが、それぞれこつこつと学習を続け、英語の力を伸ばして行かれる様子はとても励みになります。もうすぐセンター試験ですね。受験予定の会員さんもしらっしゃると思いますが、茅ヶ崎方式を通して勉強されたことは必ず役に立つと信じています。今までの努力が良い結果に繋がるよう英語会一同願っております。受験生のみなさん、自分を信じて頑張ってください。

♪ 携帯の待受けに「招き猫」を入れてみました。お陰さまでいつもニコニコ笑顔でいられます！